



GMO グローバルサイン・ホールディングス株式会社

2024 年 12 月期 第 3 四半期決算説明会

2024 年 11 月 13 日

イベント概要

[企業名]	GMO グローバルサイン・ホールディングス株式会社
[企業 ID]	3788
[イベント言語]	JPN
[イベント種類]	決算説明会
[イベント名]	2024 年 12 月期 第 3 四半期決算説明会
[決算期]	2024 年度 第 3 四半期
[日程]	2024 年 11 月 13 日
[ページ数]	29
[時間]	17:30 – 17:56 (合計：26 分、登壇：20 分、質疑応答：6 分)
[開催場所]	インターネット配信
[会場面積]	
[出席人数]	
[登壇者]	1 名 代表取締役 社長執行役員 青山 満 (以下、青山)

サポート

日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptasia.com



[アナリスト名]* 大和証券 得永 一樹

*質疑応答の中で発言をしたアナリスト、または質問が代読されたアナリストの中で、SCRIPTS Asia が特定出来たものに限る

サポート

日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasiasia.com



登壇

司会：本日はお忙しい中、GMO グローバルサイン・ホールディングス、2024 年第 3 四半期決算説明会にご参加いただきまして、誠にありがとうございます。

本日の説明会は、代表取締役、青山満よりご説明させていただきます。説明会終了後、質疑応答の時間を設けております。それでは、これより開始させていただきます。

青山社長、お願いします。

会社概要

企業理念

コトをITで変えていく。

ITのチカラで私たちの身の回りで起こるコトを変えていく。便利で豊かな笑顔ある社会を広げていく。それは未来永劫にわたる、私たちの使命です。

会社名	GMOグローバルサイン・ホールディングス株式会社
証券コード	3788 (東証プライム)
設立	1997年5月 株式会社アイル
事業内容	電子認証・印鑑事業 (電子認証、電子契約、企業向けID・パスワード管理サービス) クラウドインフラ事業 (クラウド、ホスティングサービス) DX事業 (O2Oアプリ、IoT関連、ネットワークエンジン)
親会社	GMOインターネットグループ株式会社 (東証プライム：9449) 被持株比率51.8%※ ※2001年5月 GMOインターネットグループへ参加
子会社	15社 連結12社 (国内5社、海外7社) 非連結3社 (2024年6月末現在)
パートナー数	1,012名 (2024年9月末現在) ※非連結含

GMOグローバルサインHD
#GlobalSign

2

映像：コトをITで変えていく。GMO グローバルサイン・ホールディングス

サポート

日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptasia.com

SCRIPTS
Asia's Meetings, Globally

3

目次

01	2024年 第3四半期決算概要	05
02	事業概況	15
	電子認証・印鑑事業	16
	クラウドインフラ事業	28
	DX事業	30

青山：青山でございます。本日はお忙しい中ご参加いただき、誠にありがとうございます。

それでは早速、2024年第3四半期の決算についてご報告申し上げます。

こちらが、本日のアジェンダになります。

まずはじめに、業績についてご報告させていただき、その後に各事業の状況についてご説明いたします。

サポート

日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptasia.com

2024年Q3 決算ハイライト

重点商材の成長好調 SSL販売が一時的要因で軟調も足元では回復傾向

重点KPI	電子印鑑なら GMOサイン	重点KPI	GMO トラスト・ログイン
売上	1.39倍	売上	1.42倍
契約件数	1.43倍	契約件数	1.24倍
送信件数	1.48倍	有料ID数	1.30倍
Point 1	GMOサインが足元で黒字化達成	Point 2	電子認証・印鑑事業の売上高は前年同期比で12.3%増

GMOグローバルサインHD
#GlobalSign

6

それでは、第3四半期の決算概要についてご説明いたします。

まずは、第3四半期の決算のハイライトについてご説明いたします。

重点商材である電子印鑑 GMO サインの売上高は、前年同期比で39%増加いたしました。また、足元では単月黒字化を達成しております。さらに、GMO トラスト・ログインの売上高も、前年同期比で42%増加し、引き続き順調に事業を拡大しております。

一方で、連結業績については、売上高は前年同期比9.6%増収したものの、営業利益は電子認証事業で中国でのSSL販売が、大手代理店の一時的な受注減少の影響で、前年同期比4.5%減益となりました。ただ、足元では持ち直しており、海外市場におけるSSL販売の受注状況は好調です。

また、電子認証・印鑑事業においては、重点商材の成長により、売上高が前年同期比で12.3%増収いたしました。

サポート

日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptasia.com



2024年Q3 決算サマリー[累計比較]

- ・電子認証事業において主に中国でSSL販売が軟調に推移したことで減益
- ・通期業績予想は足元でSSL販売の受注環境が回復基調であることから据え置き

(百万円)	2023年Q3実績	2024年Q3実績	前年同期比	2024年通期予想	進捗率
売上高	12,835	14,071	+9.6%	19,250	73.1%
営業利益	854	815	-4.5%	1,450	56.2%
経常利益	927	842	-9.2%	1,387	60.8%
親会社株式に帰属する 四半期純利益	578	528	-8.7%	840	62.9%
EBITDA※	1,262	1,393	+10.3%	-	-

※EBITDA：営業利益と減価償却費の合計値

GMOグローバルサインHD
GlobalSign

8

第3四半期の連結業績は、売上高が140億7,100万円、営業利益が8億1,500万円となりました。CloudCREW、GMOサインそして、GMOトラスト・ログインといった重点商材が成長したことにより、前年同期に比べて増収となりました。

一方、主に中国でSSL販売が軟調に推移したことで、減益となっております。ただ、先ほど申し上げたとおり、足元ではSSL販売の受注環境は持ち直しており、回復基調であることから、通期業績予想については据え置きとしております。

サポート

日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptasia.com

 **SCRIPTS**
Asia's Meetings, Globally

6

四半期売上高推移

・GMOサインおよびGMOトラスト・ログイン、クラウドインフラ事業の成長により前年同期比で増収



10

続いて、売上高の四半期推移についてご説明いたします。

2024年第3四半期の連結売上高は、45億500万円となり、前年同期比で4.4%の増収となりました。

電子認証・印鑑事業は、中国でのSSL販売の影響により、前四半期比では減収となっておりますが、GMOサインおよびGMOトラスト・ログインの継続的な成長もあり、前年同期比で5.8%の増収となりました。

クラウドインフラ事業では、CloudCREWの販売が順調に推移したことで、前年同期比で4.2%増収となりました。

最後に、DX事業では、受注案件の納品スケジュールの後ろ倒しにより、前年同期比で13.8%減収となりました。

サポート

日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375
 フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptasia.com

四半期営業利益推移

- 電子認証事業のSSL販売が軟調に推移したことで売上高が減少し前年同期比で減益



11

第3四半期の営業利益は、電子認証事業の売上高減少により、前年同期比で70.7%減収となりました。ただ、足元では回復傾向であることに加え、戦略的なコスト最適化を図り、継続的な成長を目指します。

クラウドインフラ事業では、ソフトウェアのライセンス料の値上げなどの影響で、売上原価が増加しましたが、データセンター関連費用等のコスト削減により、前年同期比で75%の増益となりました。

DX事業では、広告宣伝費の抑制などによるコスト削減を図りましたが、売上減少の影響により、前年同期比で営業損失が増加いたしました。

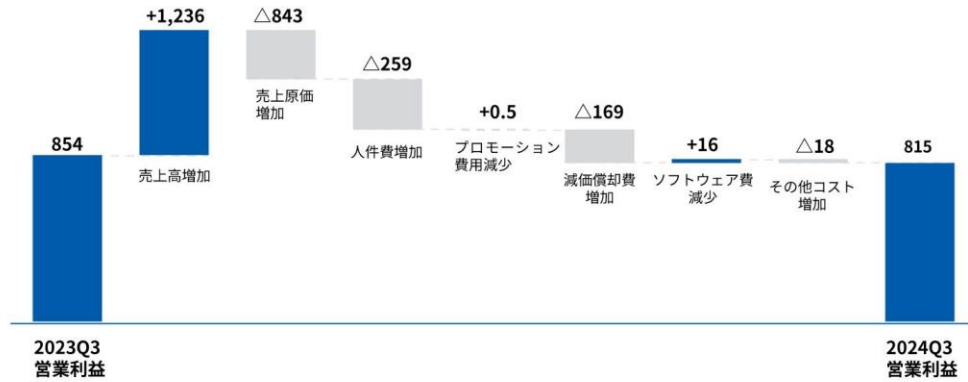
サポート

日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptasia.com

営業利益増減分析

・ GlobalSignの認証局新プラットフォーム開発により売上原価および減価償却費が増加

(百万円)



GMO グローバルサイン+HD
GlobalSign

12

営業利益の増減分析についてご説明いたします。

前年同期比で 3,800 万円減少し、8 億 1,500 万円となっております。売上高が、約 12 億 3,600 万円成長した一方で、以下の要因によりコストも増加いたしました。

まず、GlobalSign の電子認証サービスにおいては、継続して行っている認証局のシステム開発のため、売上原価および減価償却費が増加しております。

また、前四半期にクラウドインフラ事業のホスティングサービスで、ソフトウェア利用料の値上げがあり、その影響で売上原価が増加している状況です。これらの要因により、前年同期比で営業利益は 3,800 万円減少いたしました。

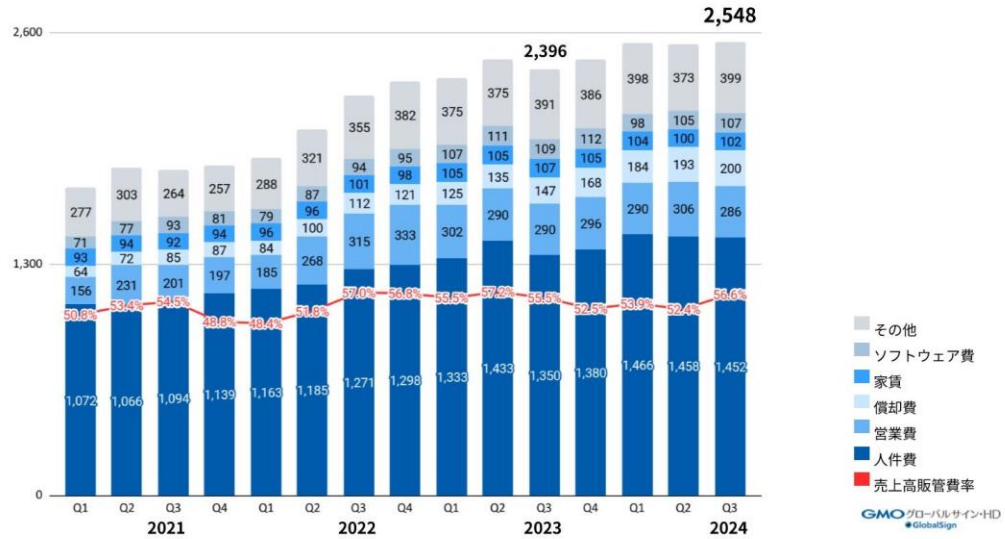
サポート

日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptasia.com

SCRIPTS
Asia's Meetings, Globally

販売管理費及び一般管理費の四半期推移

・ 広告宣伝費を抑制したものの、電子認証局の開発投資による減価償却費増加のため、前年同期比で微増
(百万円)



13

次に、販管費の四半期推移についてご説明いたします。

営業費に関しては、マーケティング施策の効率化で広告宣伝費を抑制したことにより、前年同期より微減して推移しております。

一方で、引き続き、将来の成長を見据えた投資の一環として、GlobalSign の認証局システム開発を行っており、減価償却費が増加しております。

サポート

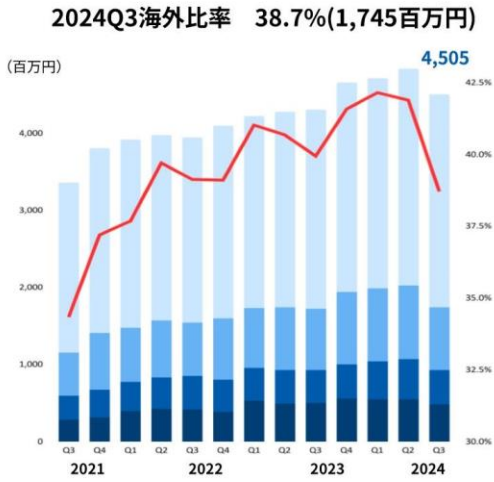
日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375
 フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptasia.com



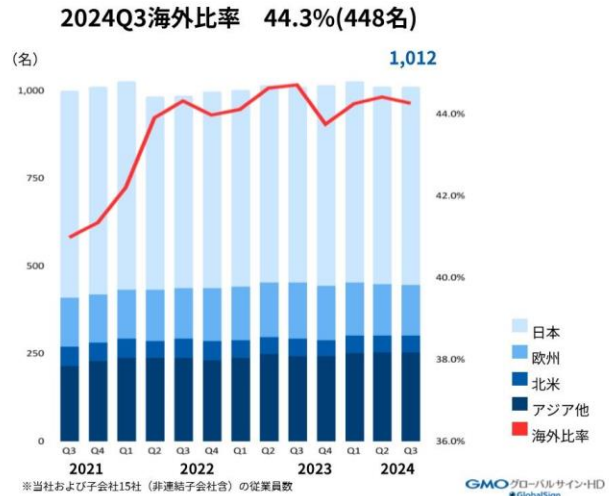
グローバル拠点別推移

・主に中国の大手代理店の受注減少により海外売上比率が減少。国内注力事業の売上は好調

売上高



パートナー(従業員)数※



14

決算概要の最後は、拠点別の連結売上高と全パートナー数の推移についてでございます。

売上高は、主に中国を中心に海外で売上が減少し、国内注力事業が順調に成長したことで、海外比率は1.3ポイント減少いたしました。

次に、パートナー数の海外比率についてです。主にインドとフィリピンにおいて増加しておりますが、欧州での減少により、前年同期比で0.4ポイント減少いたしました。

以上が、売上高およびパートナー数の拠点別推移になります。

サポート

日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375
 フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptasia.com



電子認証局の技術・ノウハウを生かしたサービス群



インターネットの身元証明機関 電子認証局 を自社運営

- SSLシェア 国内No.1、世界No.3



立会人型・当事者型すべての署名を提供する電子契約サービス

- 契約社数 国内 No.1
- 契約送信件数 国内 No.1



シングルサインオンサービス

- 導入企業数 国内No.1
- 連携アプリ数 国内No.1

ここからは、各セグメントの事業についてご説明いたします。

まずは、電子認証・印鑑事業でございます。

当セグメントのサービス概要は、ご覧のとおりです。当社は、自社保有の電子認証局の技術とノウハウを強みに、様々なサービスを展開しております。

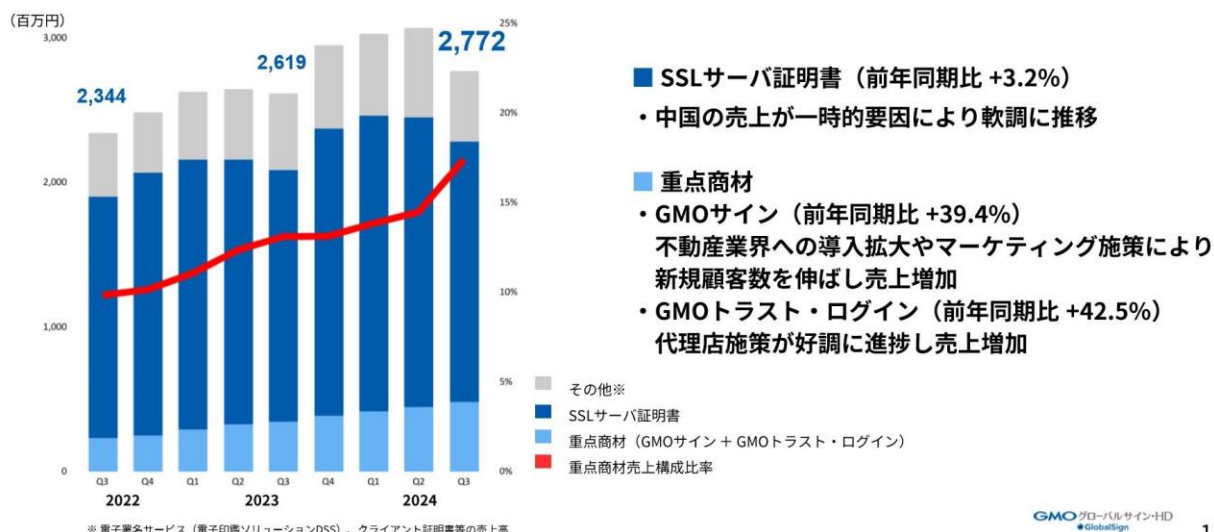
GlobalSign は SSL サーバー証明書で国内シェア No.1、GMO サインは契約者数、契約送信件数で国内 No.1、トラスト・ログインは導入企業数、連携アプリ数で国内 No.1 となっております。

サポート

日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptasia.com

商材別四半期売上推移

・GMOサインおよびGMOトラスト・ログインの高成長により売上構成比率を伸ばす



まずは、電子認証・印鑑事業の商材別売上の推移についてご説明いたします。

第3四半期において、SSLは主に中国の売上減少により、前年同期比では3.2%の増加にとどまりました。重点商材であるGMOサインおよびトラスト・ログインの売上については、前年同期比で約41%の増加と大きく成長し、第3四半期連結売上高に対する構成比率は約17%となっております。

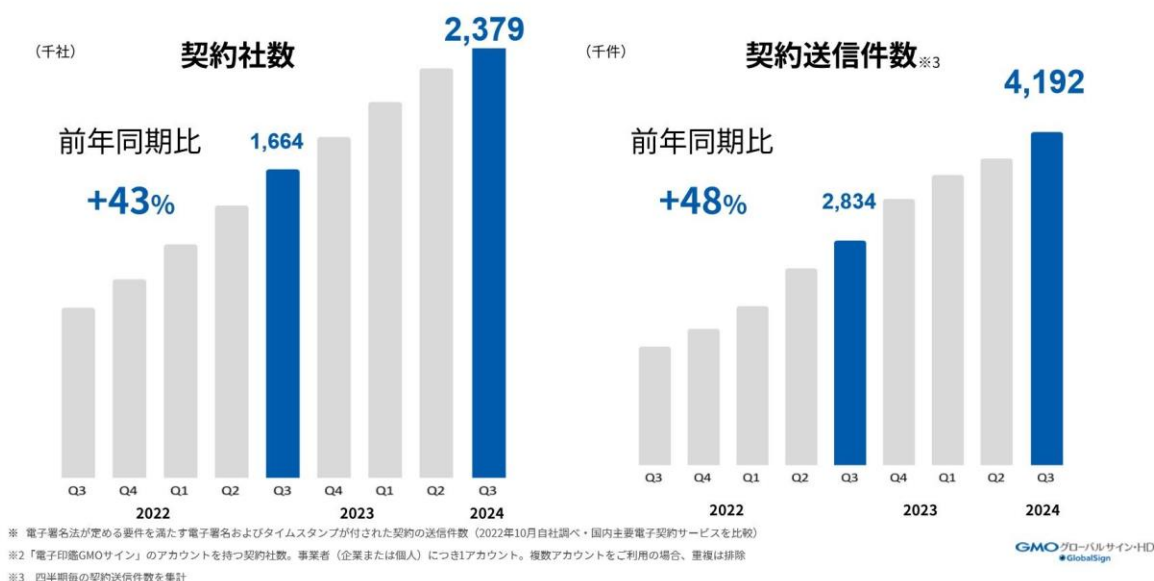
GMOサインは、引き続きマーケティング施策により、順調に新規顧客を伸ばしており、特に不動産業界への導入が拡大しております。トラスト・ログインにおいても、引き続き代理店戦略の強化が順調に進捗したことで、売上を伸ばしております。

サポート

日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375
 フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptasia.com

電子印鑑GMOサインのKPI推移

契約社数 No.1 契約送信件数 No.1



19

次に、電子印鑑 GMO サインの状況についてご説明いたします。

まずは、KPI の推移です。

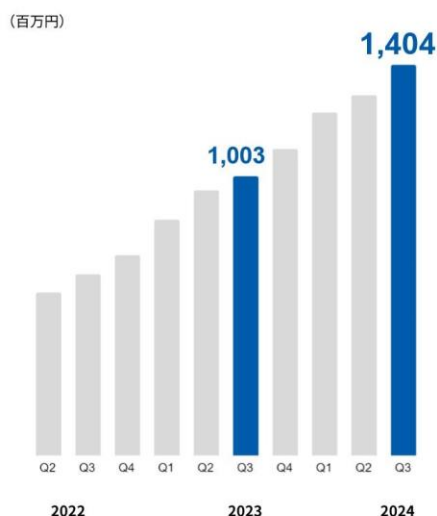
契約者数の推移においては、前年同期比で 43%増加し、237 万 9,000 社となりました。引き続き、国内の電子契約サービスで No.1 となっております。

有料契約数についても、継続して取り組んでいる Web 広告施策や有料化施策の効果により、順調に進捗しております。さらに、契約送信件数の推移についても、前年同期比で 48%増加の 419 万件と引き続き好調でございます。

サポート

日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375
 フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptasia.com

電子印鑑GMOサインのARR推移※



新規有料契約が引き続き好調
金融機関等への導入も拡大

前年同期比
+40%

※ Annual Recurring Revenue の略称、各四半期の平均売上（一時収益を含まない）を12倍して算出。

GMOグローバルサインHD
GlobalSign

次に、GMOサインのARRの推移についてご報告いたします。

ARRは前年同期比で40%の増加と、前四半期に引き続き高い成長を維持しております。特に、継続して取り組んでいるプロモーション施策によって、新規有料契約が上振れて進捗しており、売上成長を牽引しております。今後も、高い成長を継続すべく取り組んでまいります。

契約企業（一部抜粋）



GMOグローバルサインHD
GlobalSign

サポート

日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptasia.com

こちらは、導入企業の一覧です。

有料契約を締結した企業のうち、掲載許可を得た企業のみを掲載しております。足元でも引き続き、多くの大企業が新たに導入を進めている状況です。

みずほ銀行と業務提携を開始

スタートアップ企業等のDX推進を支援し、顧客獲得を強化



また、大手金融機関の導入や、リプレース案件等の受注も進んでおります。大手食品メーカー様などにおいて、グループ会社への導入も拡大しており、不動産業界や建設業界の新規導入も好調です。今後も引き続き、様々な企業様にご満足いただけるサービスを提供し、更なる市場拡大を目指してまいります。

サポート

日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasias.com

セキュリティを強みに金融機関へ導入拡大

- 日本住宅ローンが旧来の電子契約サービスから
電子印鑑なら
GMOサイン に切り替え
- 電子契約に二要素認証を活用し、フラット35をはじめ
住宅ローン契約の締結に活用
- セキュリティを強みに安全性と利便性を両立

次に、電子認証・印鑑事業の成長に向けた取り組みについてご紹介いたします。

まず一つ目は、金融機関との連携による取り組みについてです。

GMOサインは9月にみずほ銀行様との業務提携を開始し、みずほ法人口座を開設した事業者に対して、6カ月間無料で提供する施策を実施しております。これにより、企業のDX推進を図るとともに、新規顧客獲得を強化する方針です。

二つ目は、金融業界への利用拡大に関する取り組みでございます。6月に、日本住宅ローン株式会社様にご導入いただきました。この導入は、競合他社からのリプレイス案件となりますが、これにより、フラット35をはじめとする住宅ローン契約の締結を、GMOサインに切り替えることとなりました。

GMOサインは、メールアドレスによる本人確認とSMS認証を組み合わせた、2要素認証を実現する電子契約サービスです。金融機関が求める高度な安全性を担保しながら、ユーザーに高い利便性を提供することができます。今後も、GMOサインは高いセキュリティを武器に、金融機関への導入拡大を目指してまいります。

三つ目は、セキュリティ強化の取り組みについてです。GMOサインは、電子帳簿保存法に準拠していることを証明する、JISMA認証を新たに取得いたしました。当社は業界で唯一、自治体が重視する全てのセキュリティ認証を取得しており、高度なセキュリティ対策を講じたサービスを提供し

サポート

日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptasia.com

ております。これにより、多くの自治体や企業に対し、信頼性の高いセキュリティ環境を提供し、サービスの導入を促進することが可能となります。

今後も競合他社と差別化を図る上で、セキュリティ面での優位性を強みとし、更なる利用拡大を目指してまいります。

セキュリティと協業の強化で自治体導入でもNo.1へ

132の自治体へ導入が決定※



導入自治体（一部抜粋）

東京都	神奈川県	群馬県	北海道
静岡県	山口県	大分県	熊本県
東京都 渋谷区	東京都 足立区	福岡県 福岡市	福岡県 北九州市
愛知県 名古屋市	愛知県 豊田市	愛知県 知多市	愛知県 東海市
愛知県 大府市	長野県 白馬村	千葉県 八千代市	神奈川県 川崎市
神奈川県 横須賀市	神奈川県 茅ヶ崎市	大阪府 東大阪市	大阪府 豊中市
大阪府 枚方市	大阪府 四条畷市	大阪府 寝屋川市	大阪府 大阪狭山市
大阪府 門真市	大阪府 泉佐野市	大阪府 八尾市	大阪府 河内長野市
大阪府 堺市	大阪府 吹田市	大阪府 富田林市	大阪府 羽曳野市
大阪府 箕面市	大阪府 岸和田市	大阪府 茨木市	大阪府 岬町
大阪府 和泉市	大阪府 忠岡市	大阪府 高槻市	大阪府 守口市
大阪府 池田市	鹿児島県 奄美市	三重県 いなべ市	新潟県 三条市
福井県 坂井市	兵庫県 たつの市	兵庫県 宍粟市	滋賀県 長浜市
広島県 三原市	福島県 郡山市	福島県 いわき市	岩手県 北上市
福島県 須賀川市	群馬県 大泉町	秋田県 横手市	

※ 10月30日時点で「電子印鑑GMOサイン」または「GMOサイン電子公印」を有償契約している公共団体

続いて、自治体への導入状況についてご説明いたします。

現時点で、GMOサインの自治体導入数は132件となりました。

また、自治体が発行する道路の通行許可や補助金の決定通知などの処分通知を電子化する、オンライン型サービスGMOサイン電子公印については、現在、新たな機能開発や認知度向上を図るPRを積極的に行っており、NEC様をはじめとした大手企業との協業により、積極的な導入推進を図っております。

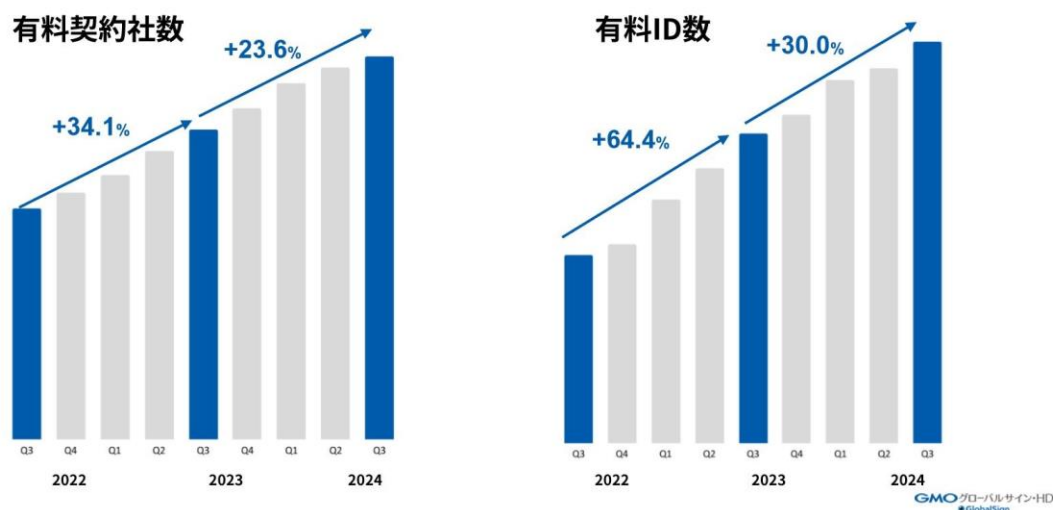
引き続き、多くの自治体に信頼されるソリューションを提供することで、自治体導入数でもNo.1を目指し、事業成長してまいります。

サポート

日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasias.com

GMOトラスト・ログインのKPI推移

・代理店施策の強化により有料契約社数を拡大。売上は前年同期比+43%増加



26

電子認証・印鑑事業の最後に、GMOトラスト・ログインの状況についてご説明いたします。

重要 KPI である有料契約者数は、前年同期比で 23.6%増加いたしました。また、有料 ID 数も、前年同期比で 30%増加いたしました。

今後の施策として、代理店強化を挙げておりますが、富士フィルム様やリコー様をはじめ、最近では楽天モバイル様、Sky 様などの新たなパートナー様を獲得し、更なる導入拡大を進めております。

その結果、売上高も前年同期比で 43%の増加と、引き続き好調な成長となっております。

サポート

日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375
 フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptasia.com

契約企業（一部抜粋）



GMOグローバルサイン・HD
GlobalSign

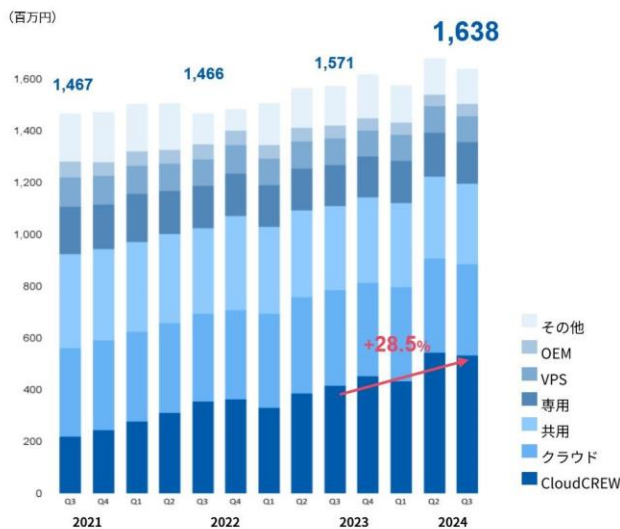
こちらは、トラスト・ログインの導入企業の一例でございます。

直近でも、大手自動車メーカー様に導入いただくなど、大型案件の獲得も続いております。引き続き、様々な施策を強化し、事業の成長を推進してまいります。

クラウドインフラ事業

商材別四半期売上推移

・ CloudCREW byGMOは為替の影響により、前四半期比で微減も販売は好調に推移



2024年 第3四半期

売上高： **532**百万円

前年同期比： **+28.5%**

2024年 第3四半期（累計）

売上高：1506百万円 前年同期比：+33.2%

GMOグローバルサイン・HD
GlobalSign

続いて、クラウドインフラ事業についてご説明いたします。

サポート

日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptasia.com



クラウドインフラ事業における、商材別の四半期売上の推移についてご説明いたします。

第3四半期の売上高は、事業全体で前年同期比 5.4%増加いたしました。この中で、CloudCREWの売上高については、為替の影響により、第2四半期比で微減したものの、受注環境は引き続き好調に推移し、前年同期比 28.5%増の 5 億 3,200 万円となりました。また、CloudCREW の第3四半期までの累計売上は、前年同期比 33.2%増の 15 億 600 万円となり、目標を上回る順調な進捗となっております。

CloudCREW では、セキュリティを強みとして差別化を図るべく、GMO サイバーセキュリティ by イエラエ社と提携するなどの取り組みを行っております。今後も新たなセキュリティサービスを開発していくことで、当社の強みであるセキュリティを活かした事業拡大を進めてまいりたいと考えております。

DX事業

GMO おみせアプリ

導入店舗数推移



モバイル商品券プラットフォーム by GMO

民間企業へも導入拡大でさらなる成長を目指す

導入事例（一部抜粋）



GMOグローバルサインHD
GlobalSign

31

最後に、DX 事業について説明させていただきます。

最初に、アプリ事業の状況についてご説明いたします。

GMO おみせアプリの導入店舗数は、協業サービス、おみせポケットとの合計で、前年同期比 24.1%増加し、2 万 9,509 件となりました。また、7 月におみせアプリが、店舗イベントや観光誘致に活用できるスタンプラリー機能をリリースするなど、機能拡充を進めております。

サポート

日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasias.com

SCRIPTS
Asia's Meetings, Globally

モバイル商品券プラットフォーム byGMO では、福岡空港様など、民間企業への導入もあり、自治体以外にも幅広く導入をいただいております。

今後も、各種施策を積極的に推進し、事業の更なる成長を図ってまいります。

導入実績

- ・大規模投資が不要なAI技術活用で、国内大手製造業とビル管理会社を中心に導入拡大



続いて、DX 事業における AI 分野での投資事業である、hakarui.ai についてご説明いたします。

おかげさまで、hakarui.ai の登録メーター数は順調に増加しております。最近では、国内の大手非鉄金属製造業様や、ビルメンテナンス会社様が新たに導入を決定しております。更なる拡大を目指してまいります。

hakaru.ai とロボットの連携により導入拡大を目指す

- Japan Robot Week 2024へ参加
3日間で約5,680人の製造業を中心のお客様が来場

GMOグローバルサインHD
#GlobalSign

33

次に、長期的な成長に向けた取り組みについてご説明いたします。

9月18日から20日の3日間、ロボット関連技術の展示会 Japan Robot Week 2024 に出展いたしました。

GMO ブースには3日間で約5,680人のお客様にご来場いただきました。hakaru.aiは、AIを活用して高い精度でメーターを読み取りができることから、画像認証ロボットなどの連携を強化し、人手不足が深刻化する業種において活用し、様々なところで読み取りができる体制を整えてまいります。

また今回、hakaru.aiの顧客の中心である製造業の方を中心にご来場いただき、商談獲得なども進んだことから、サービスの認知度向上を図ることで、今後も導入拡大を目指してまいります。

サポート

日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptasia.com

資本効率の向上と株主還元強化を目的に自社株買いを実施

取得株式総数	上限 40,000株 (発行済株式総数(自己株式を除く)の0.35%)
取得株式総額	上限 100,000千円
取得期間	2024年11月13日から2024年12月31日まで

今後も経営環境を総合的に勘案し、継続して安定的な株主還元を目指す

最後に、昨日開示しました自己株式の取得についてご説明いたします。

今回の自己株式取得の目的は、当社を長らくご支援いただいている株主様への利益還元と ROE 向上を図ることにあります。

現在の業績におきましては、海外市場における SSL の販売が堅調に推移しており、受注環境の状況も良好です。さらに、投資を行っている注力事業は好調に成長しており、今後の更なる成長に向けても着実に進展しております。

このような背景から、当社の今後の成長性を考慮し、今回の自己株式取得の実施となりました。当社は現在、連結配当性向 50%をめどに株主還元を実施しておりますが、今後も株主様の期待に応えるべく、一層の成長と利益還元に努めてまいります。

引き続き当社へのご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

サポート

日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptasia.com

コトをITで変えていく。



映像：コトをITで変えていく。DMO グローバルサイン・ホールディングス

青山：私からの説明は以上になります。コトをITで変えていく。GMO グローバルサイン・ホールディングスを、引き続きよろしくお願ひいたします。ご清聴ありがとうございました。

サポート

日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasias.com



質疑応答

司会 [M]：続きまして、質疑応答に移らせていただきます。ウェビナーにご参加の皆様のご質問をお受けいたします。

それでは、質疑応答を開始いたします。

はじめに、メールにてご質問をいただいておりますので、こちらで読み上げさせていただきます。大和証券、得永様より、3点ご質問です。

得永 [Q]：1点目、SSL販売の受注環境が回復基調である、とのコメントをいただきました。これは、中国の軟調を相殺できるほど回復基調なののでしょうか。また、どの地域が回復基調なののでしょうか、ご教示ください。

青山 [A]：得永様、ご質問、ありがとうございます。ただいまのご質問ですが、まず今回海外のどうか、中国の軟調ですけれども、先ほど説明にありましたとおり、これは一時的なものが大半でございまして。ある特定の大きなパートナー様とのシステム連携が、代理店様側のシステムの都合によって、一時的に連携が取れなくなっていたことがございました。

こちらにつきましては、順次連携を進めておりまして、足元中国の状況については元に戻っている。加えて、欧米それからアメリカの状況が昨年よりも戻ってきている、昨年よりも良くなっている状況に変わってきておりますので。全体で海外の状況は、元々の成長ペースに戻ってきているような状況でございます。

得永 [Q]：2点目、1億円の自社株買い、ありがとうございます。1億円という規模感の考え方を整理ください。

青山 [A]：はい。自社株買いにつきましては、私どもは現在の株価をあまり満足しておりませんので。かつ、これから先、業績の成長によって、いい状況に変化できると思っています。

よって今、株価が安いうちに、買っておきたいというのがまず考えてございます。また、規模感でございますけれども、全体のその市場での株価の流通性を考慮して1億円、当期の利益のおよそ10%強でございますけれども。この基準、この数字をもとに、1億円という条件を決定させていただいております。

サポート

日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptasia.com

なお、これは今回だけという考えではなくて、タイミング状況等を考えながら、今後も引き続き継続できるように検討をしていきたいというふうにも考えております。

得永 [Q]：3 点目、電子契約事業の成長率見通しを教えてください。また、みずほ様との提携が成長率見通しにどのような影響を与えるか教えてください。

青山 [A]：まず、成長率でございますけれども、継続して 40%強の継続ができると考えております。また、みずほ銀行様との連携でございますけれども、まだ連携がスタートしたばかりでございます。具体的な数字っていうのは、現状ではまだ計画には織り込んでいない状況でございます。以上でございます。

司会 [M]：ありがとうございました。他に質問はございますでしょうか。ただいま質問を受け付けております。一旦、このまま 15 秒ほどお待ちしたいと思います。ぜひご質問ください。

まだお時間はございますが、他にご質問がないようですので、質疑応答を終了させていただきます。

以上をもちまして、決算説明会を終了させていただきます。本日はご参加いただき、ありがとうございました。

青山 [M]：ありがとうございました。

[了]

脚注

1. 音声不明瞭な箇所に付いては[音声不明瞭]と記載
2. 会話は[Q]は質問、[A]は回答、[M]はそのどちらでもない場合を示す

サポート

日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptasia.com



免責事項

本資料で提供されるコンテンツの信憑性、正確性、完全性、最新性、網羅性、適時性等について、SCRIPTS Asia 株式会社（以下、「当社」という）は一切の瑕疵担保責任及び保証責任を負いません。

本資料または当社及びデータソース先の商標、商号は、当社との個別の書面契約なしでは、いかなる投資商品（価格、リターン、パフォーマンスが、本サービスに基づいている、または連動している投資商品、例えば金融派生商品、仕組商品、投資信託、投資資産等）の情報配信・取引・販売促進・広告宣伝に関連して使用してはなりません。

本資料を通じて利用者に提供された情報は、投資に関するアドバイスまたは証券売買の勧誘を目的としておりません。本資料を利用した利用者による一切の行為は、すべて利用者の責任で行っていただきます。かかる利用及び行為の結果についても、利用者が責任を負うものとします。

本資料に関連して利用者が被った損害、損失、費用、並びに、本資料の提供の中断、停止、利用不能、変更及び当社による利用者の情報の削除、利用者の登録の取消し等に関連して利用者が被った損害、損失、費用につき、当社及びデータソース先は賠償又は補償する責任を一切負わないものとします。なお、本項における「損害、損失、費用」には、直接的損害及び通常損害のみならず、逸失利益、事業機会の喪失、データの喪失、事業の中断、その他間接的、特別的、派生的若しくは付随的損害の全てを意味します。

本資料に含まれる全ての著作権等の知的財産権は、特に明示された場合を除いて、当社に帰属します。また、本資料において特に明示された場合を除いて、事前の同意なく、これら著作物等の全部又は一部について、複製、送信、表示、実施、配布（有料・無料を問いません）、ライセンスの付与、変更、事後の使用を目的としての保存、その他の使用をすることはできません。

本資料のコンテンツは、当社によって編集されている可能性があります。

サポート

日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasias.com

